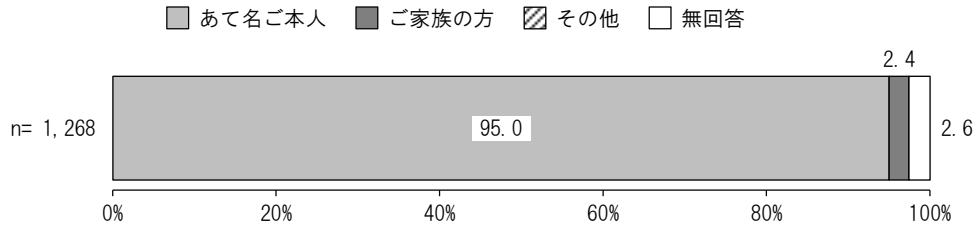

第6章 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査

1 回答者属性

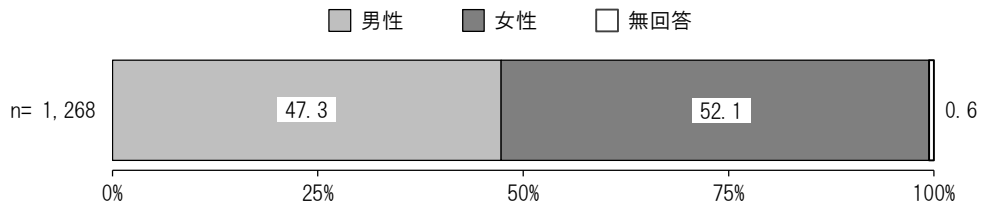
問1 この調査票は、どなたが記入していますか。(1つに○)

「あて名ご本人」が95.0%、「ご家族の方」が2.4%となっています。



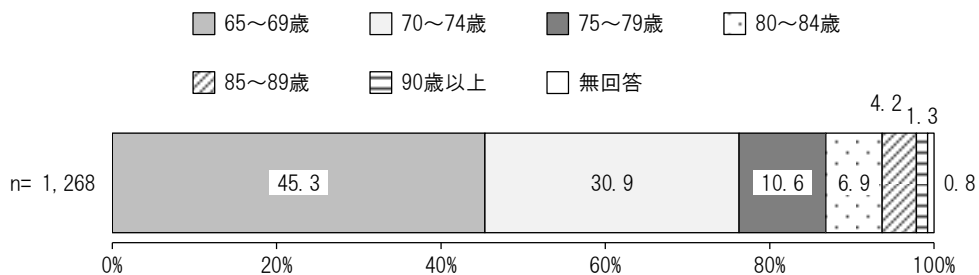
問2 あなたの性別をおたずねします。(1つに○)

「男性」が47.3%、「女性」が52.1%となっています。



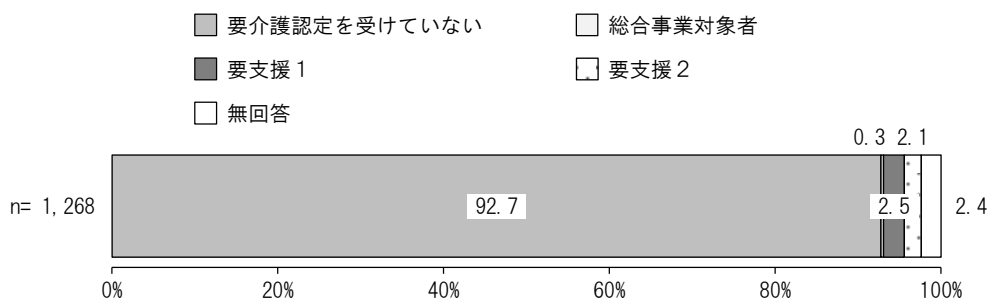
問3 あなたの令和元年11月1日現在の年齢をお答えください。

「65～69歳」が45.3%と最も高く、次いで「70～74歳」が30.9%、「75～79歳」が10.6%となっています。



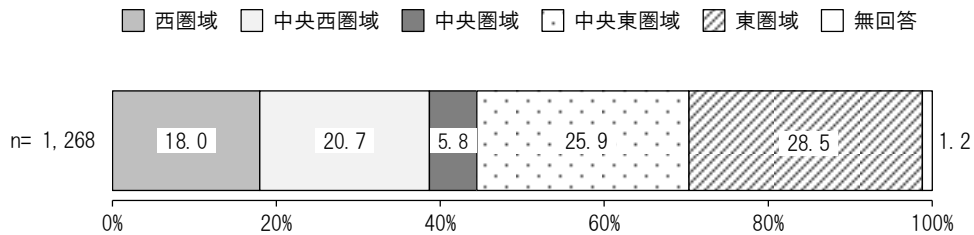
問4 あなたの要支援・要介護度をおたずねします。(1つに○)

「要介護認定を受けていない」が92.7%と最も高く、次いで「要支援1」が2.5%、「要支援2」が2.1%となっています。



問5 あなたがお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

「東圏域」が28.5%と最も高く、次いで「中央東圏域」が25.9%、「中央西圏域」が20.7%となっています。



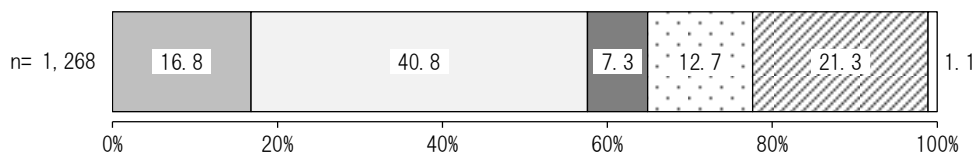
◆ 小平市の日常生活圏域

日常生活圏域	町 丁 名
西圏域	中島町、上水新町、たかの台、小川町1丁目、栄町、上水本町1丁目、津田町1丁目
中央西圏域	小川西町、小川東町1～5丁目、上水本町2～6丁目、津田町2～3丁目、学園西町
中央圏域	小川町2丁目、小川東町(西武多摩湖線より東側)、学園東町1丁目
中央東圏域	上水南町、喜平町、学園東町(1丁目を除く)、仲町、美園町、大沼町
東圏域	回田町、御幸町、鈴木町、天神町、花小金井南町、花小金井

問6 あなたが現在一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(1つに○)

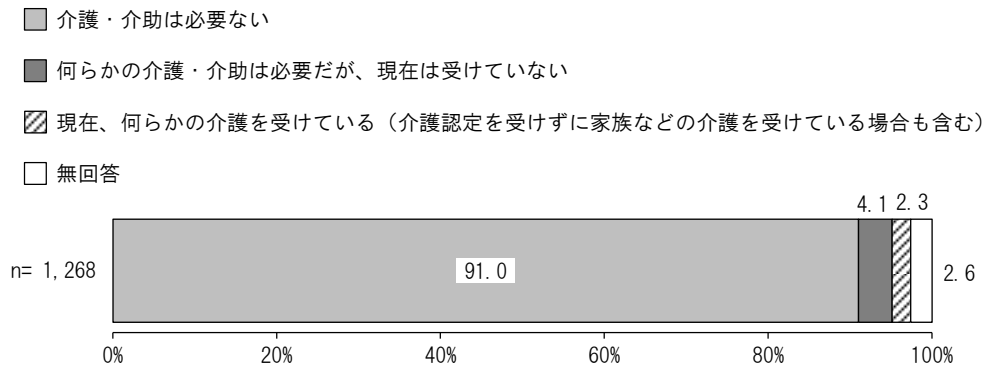
「夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)」が40.8%と最も高く、次いで「その他の家族・親族が同居(65歳未満の方も同居)」が21.3%、「ひとり暮らし」が16.8%となっています。

- ひとり暮らし
- 夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)
- 夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)
- その他の家族・親族が同居(全員65歳以上)
- その他の家族・親族が同居(65歳未満の方も同居)
- 無回答



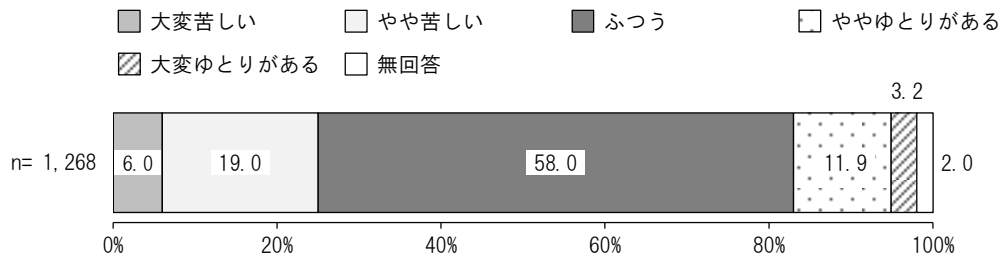
問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

「介護・介助は必要ない」が91.0%と最も高くなっています。



問8 現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか。(1つに○)

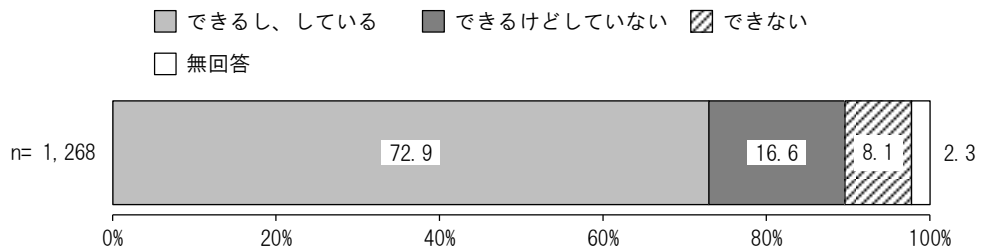
「ふつう」が58.0%と最も高く、「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”が25.0%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”が15.1%となっています。



2 からだを動かすことについて

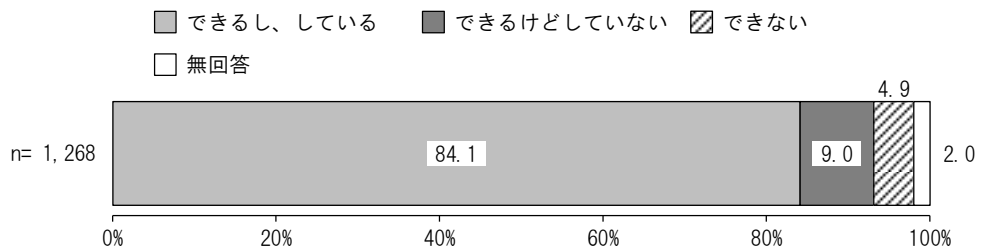
問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

「できるし、している」が72.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.6%、「できない」が8.1%となっています。



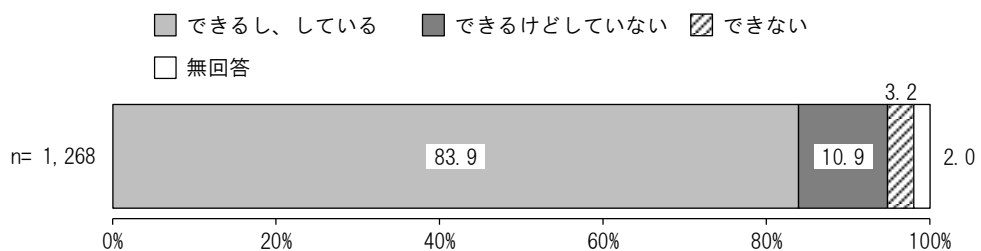
問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

「できるし、している」が84.1%となっています。



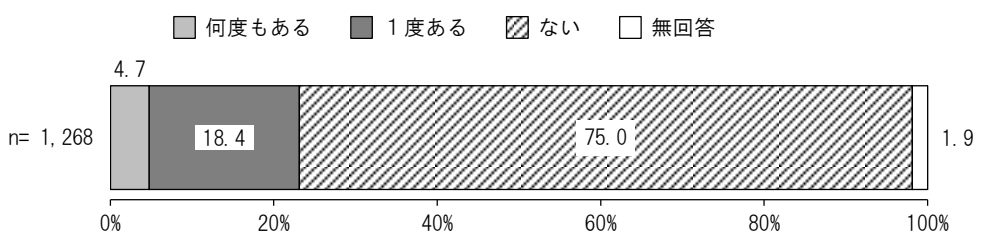
問11 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

「できるし、している」が83.9%となっています。



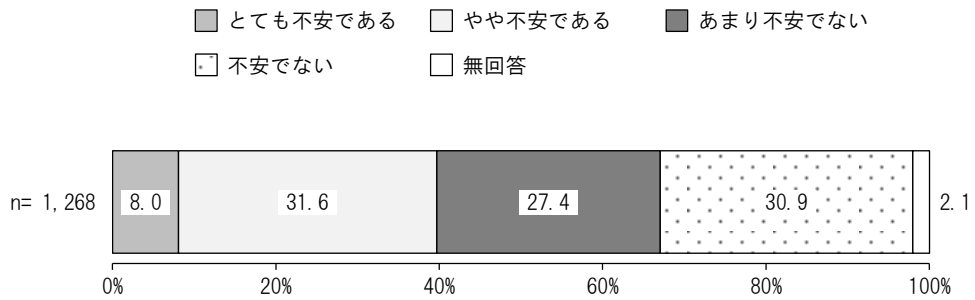
問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

「ない」が75.0%と最も高く、次いで「1度ある」が18.4%となっています。



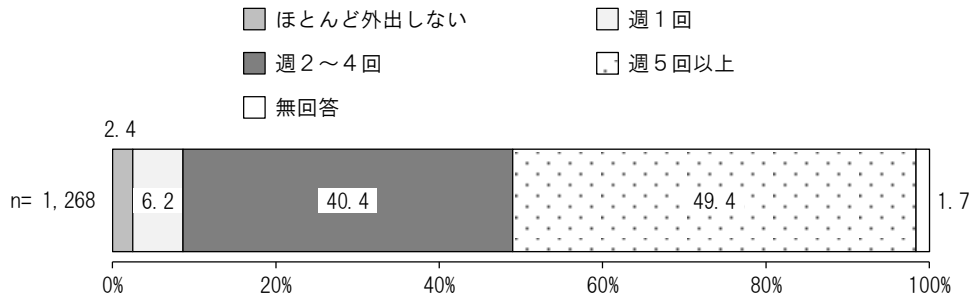
問13 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”の割合が39.6%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”が58.3%となっています。



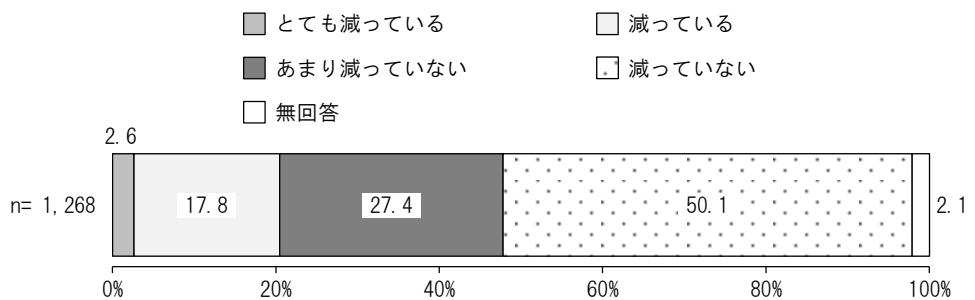
問14 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

「週5回以上」が49.4%と最も高く、次いで「週2～4回」が40.4%となっています。



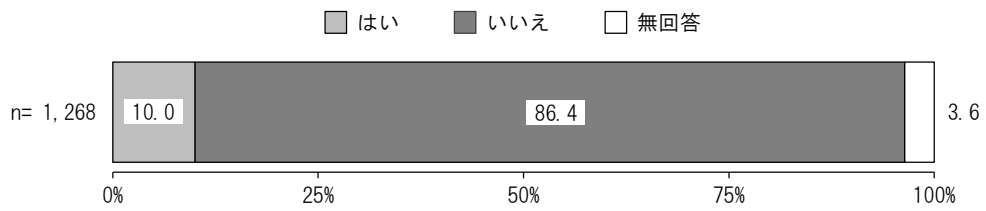
問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”が20.4%、「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”が77.5%となっています。



問16 外出を控えていますか。(1つに○)

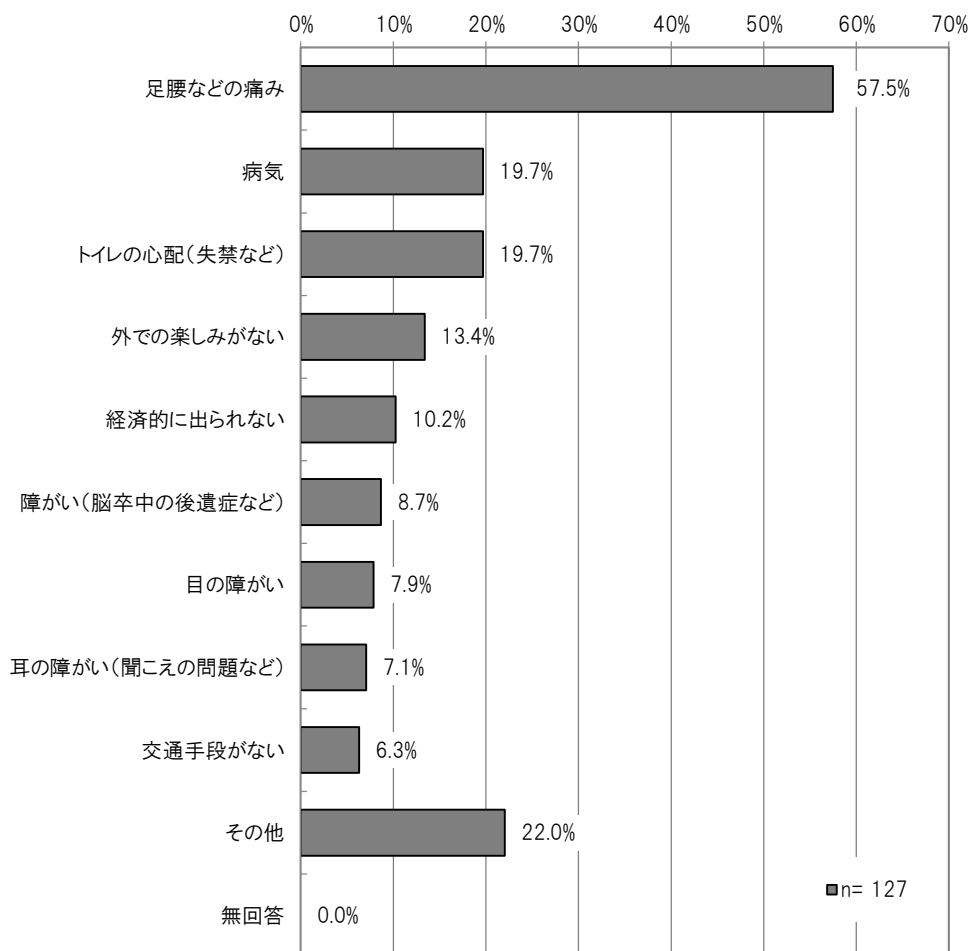
「はい」が10.0%、「いいえ」が86.4%となっています。



問16で「1. はい」と回答した方におたずねします。

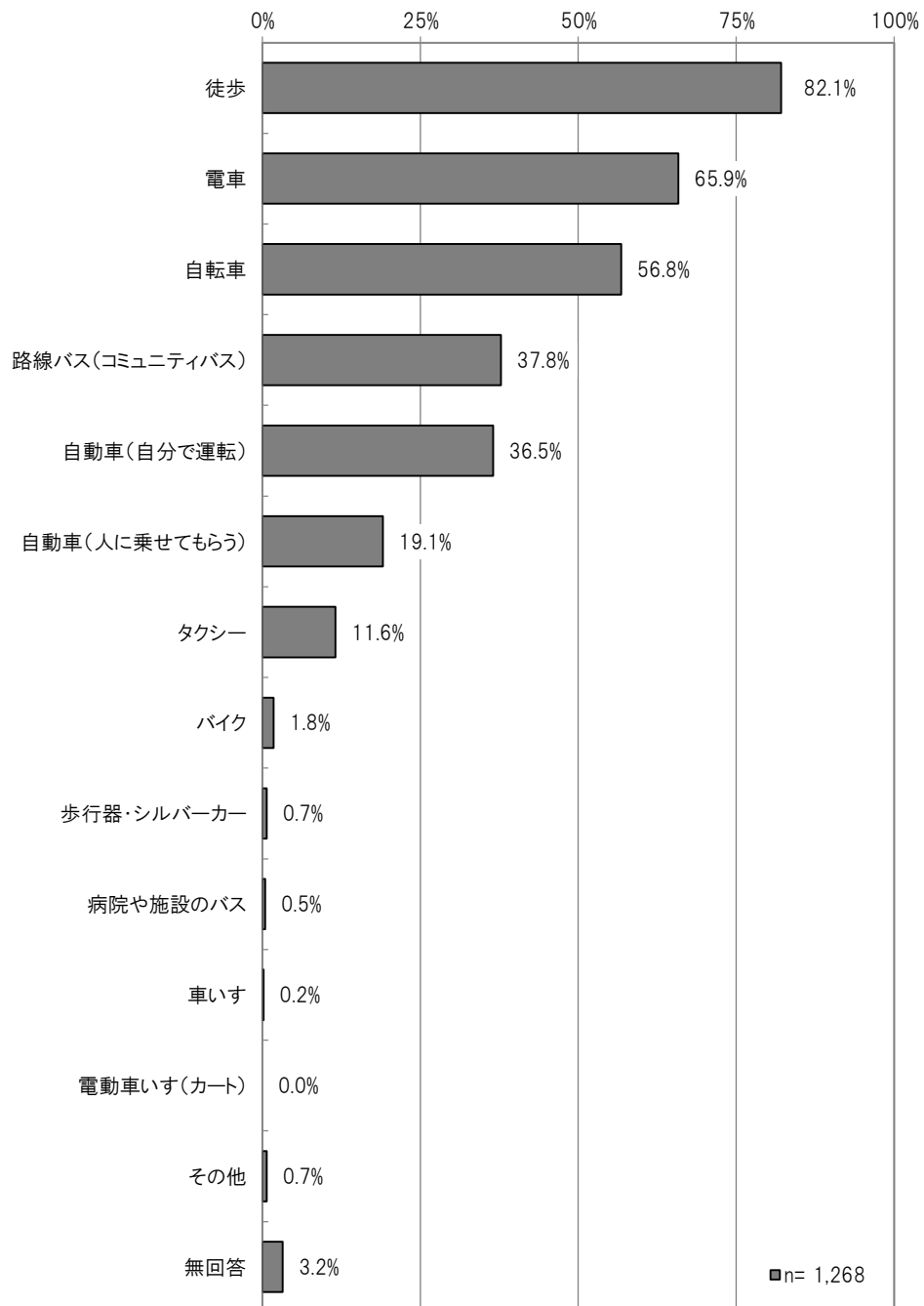
問17 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

「足腰などの痛み」が57.5%と最も高く、次いで「その他」が22.0%、「病気」と「トイレの心配(失禁など)」が19.7%となっています。



問18 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「徒歩」が82.1%と最も高く、次いで「電車」が65.9%、「自転車」が56.8%となっています。

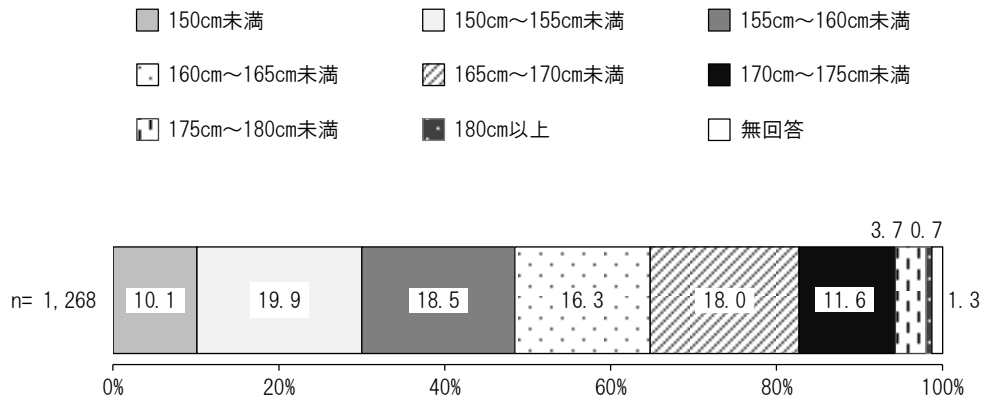


3 食べることについて

問 19 身長、体重はどれくらいですか。(数字で記入)

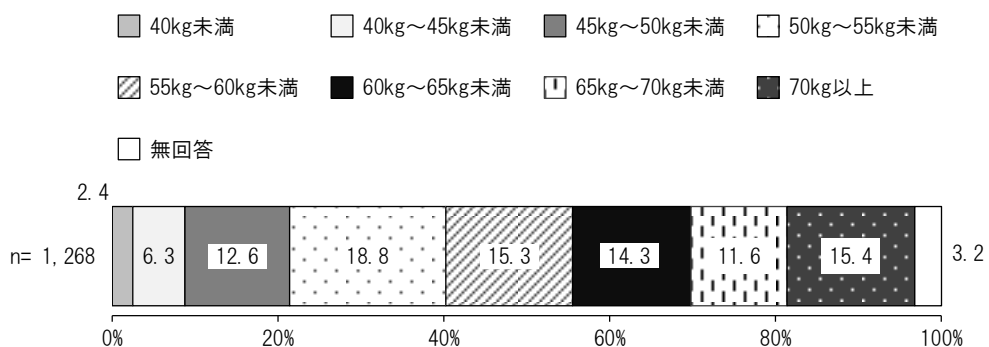
【身長】

「150 cm～155 cm未満」が 19.9%と最も高く、次いで「155 cm～160 cm未満」が 18.5%、「165 cm～170 cm未満」が 18.0%となっています。



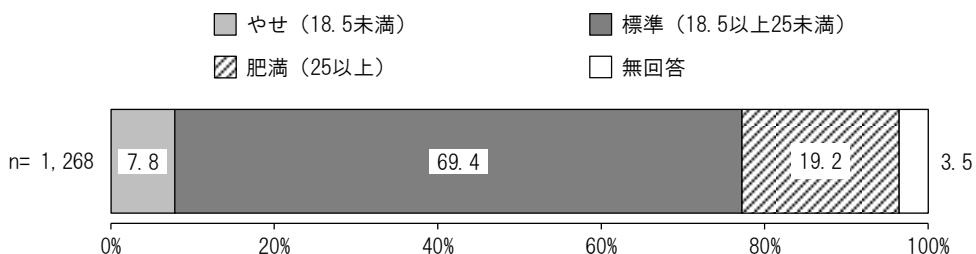
【体重】

「50 kg～55 kg未満」が 18.8%と最も高く、次いで「70 kg以上」が 15.4%、「55 kg～60 kg未満」が 15.3%となっています。



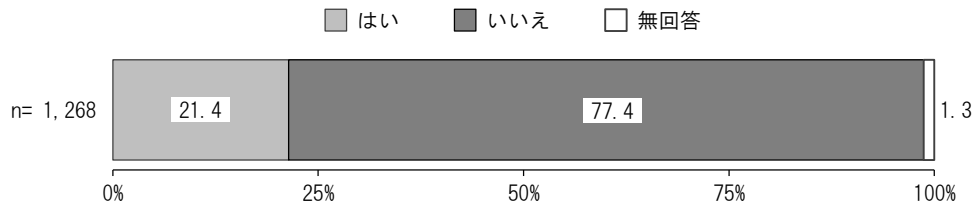
【BMI】

「標準」が 69.4%と最も高く、次いで「肥満」が 19.2%となっています。



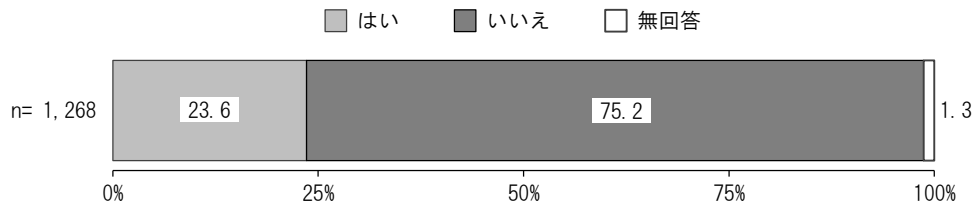
問20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

「はい」が21.4%、「いいえ」が77.4%となっています。



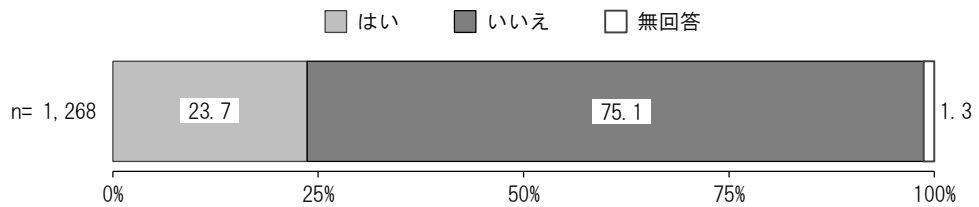
問21 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

「はい」が23.6%、「いいえ」が75.2%となっています。



問22 口の渴きが気になりますか。(1つに○)

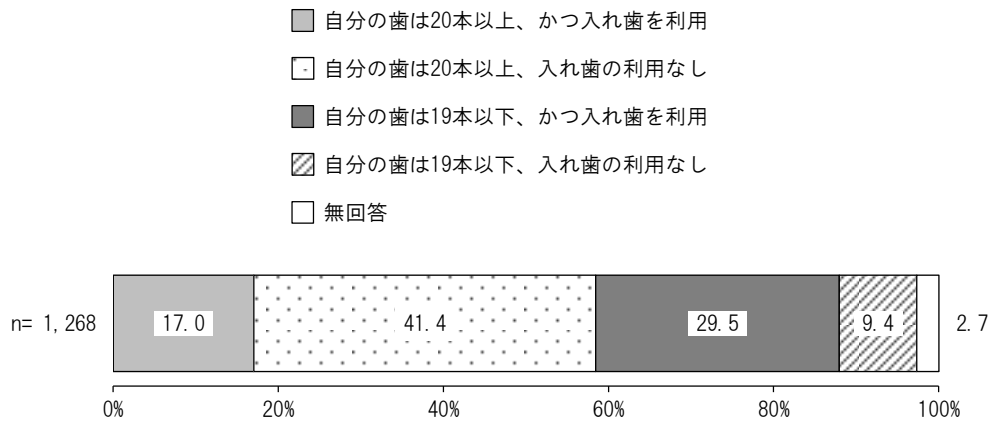
「はい」が23.7%、「いいえ」が75.1%となっています。



問 23 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つに○)

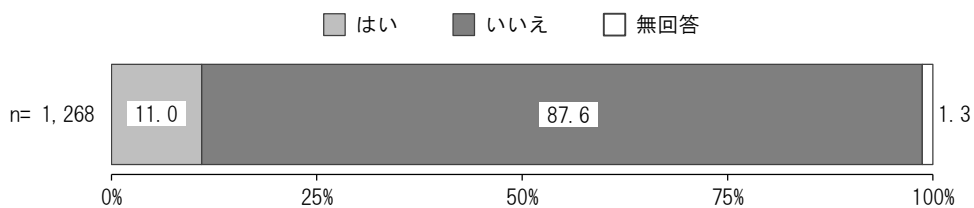
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 41.4%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 29.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 17.0% となっています。



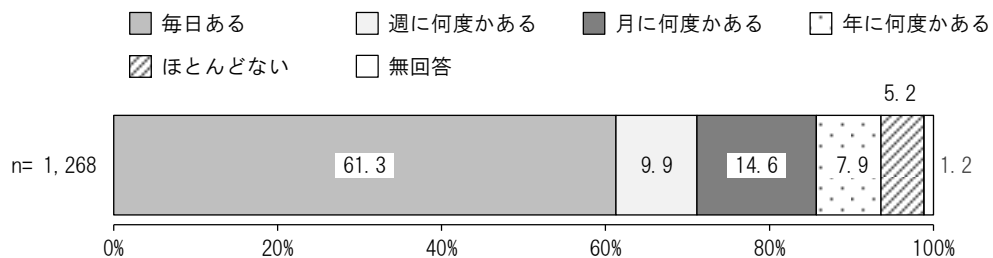
問 24 この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

「はい」が 11.0%、「いいえ」が 87.6%となっています。



問 25 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)

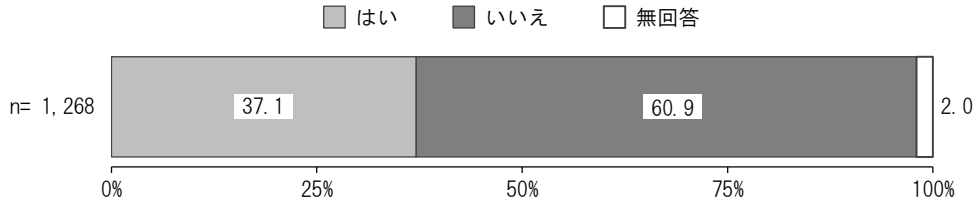
「毎日ある」が 61.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 14.6%、「週に何度かある」が 9.9%となっています。



4 毎日の生活について

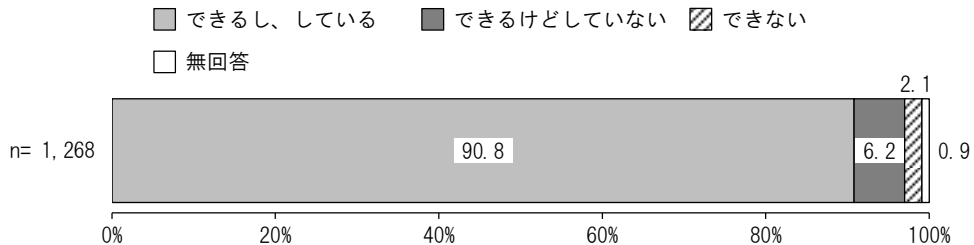
問 26 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

「はい」が37.1%、「いいえ」が60.9%となっています。



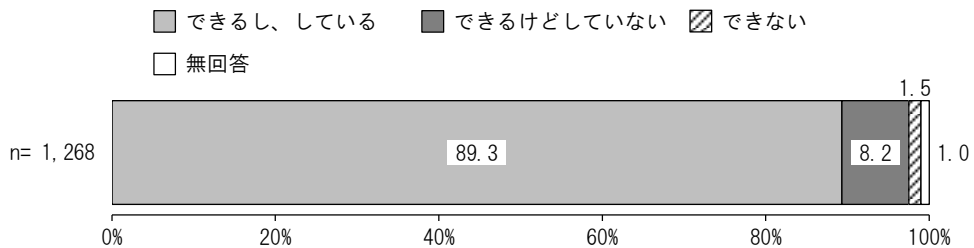
問 27 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

「できるし、している」が90.8%となっています。



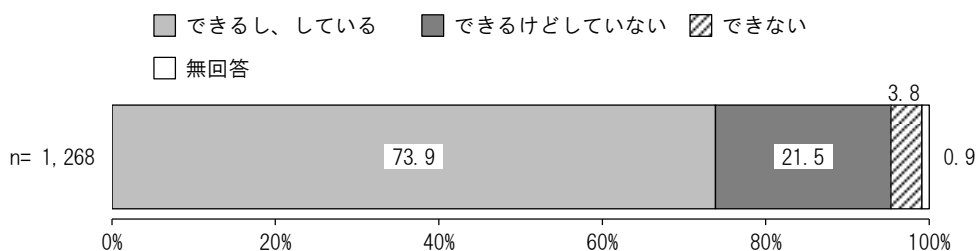
問 28 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が89.3%となっています。



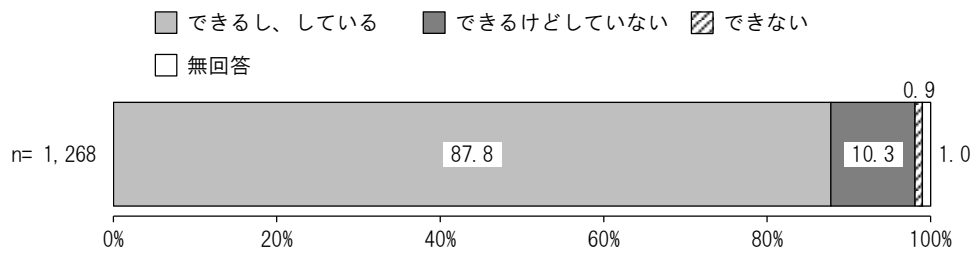
問 29 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が73.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.5%となっています。



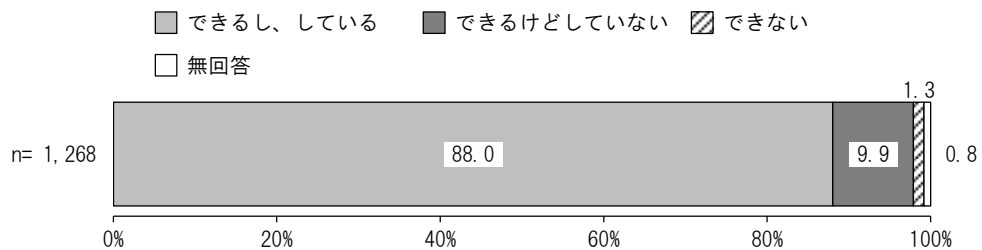
問 30 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が87.8%となっています。



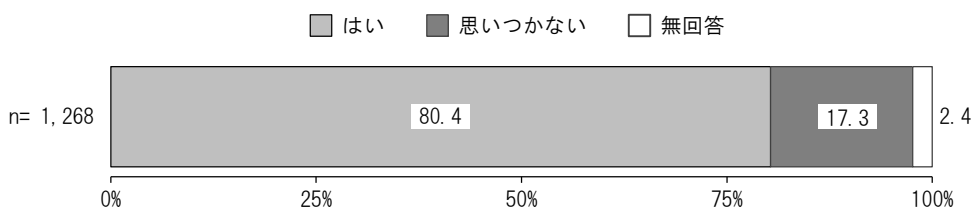
問 31 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が88.0%となっています。



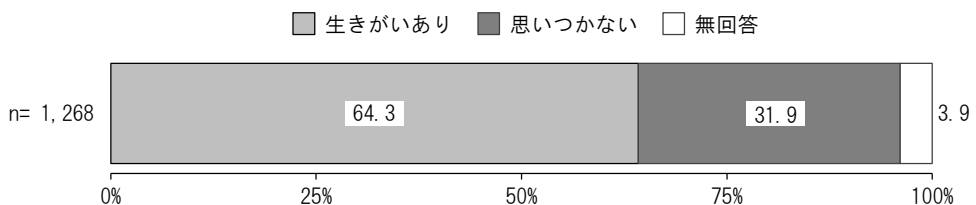
問 32 趣味はありますか。(1つに○)

「趣味あり」が80.4%、「思いつかない」が17.3%となっています。



問 33 生きがいがありますか。(1つに○)

「生きがいあり」が64.3%、「思いつかない」が31.9%となっています。



5 地域での活動について

問 34 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つに○)

②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、⑧収入のある仕事で“参加している”が30%を超えています。一方、「参加していない」はすべての区分で40%を超えています。

単位：%

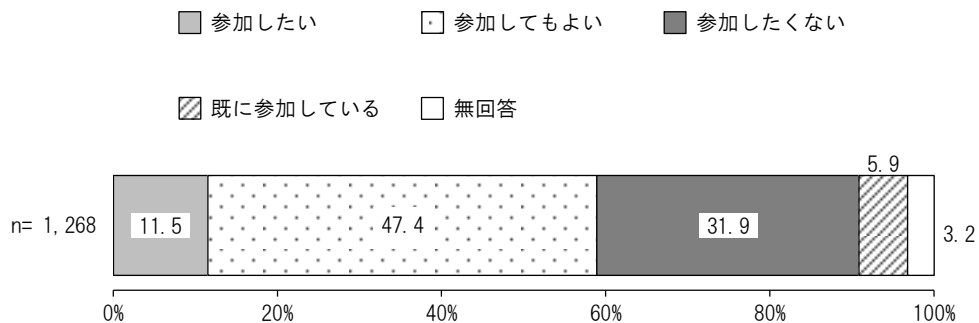
区分	有効回答数 (件)	“参加している”					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
①ボランティアのグループ	1,268	1.1	1.5	2.3	4.5	4.3	56.9	29.4
②スポーツ関係のグループやクラブ	1,268	5.0	11.1	6.2	6.0	3.2	45.0	23.6
③趣味関係のグループ	1,268	1.2	5.4	5.4	14.7	5.8	44.8	22.9
④学習・教養サークル	1,268	0.2	1.0	2.9	5.2	3.1	56.9	30.6
⑤地域の居場所・通いの場※	1,268	0.6	1.5	1.3	2.1	2.1	61.0	31.5
⑥高齢クラブ	1,268	0.1	0.2	0.4	1.7	0.9	64.6	32.1
⑦自治会・町内会	1,268	0.2	—	0.5	2.7	11.2	53.9	31.6
⑧収入のある仕事	1,268	16.6	8.6	1.4	2.5	1.6	41.5	27.8

※地域の居場所・通いの場

高齢者が気軽に通うことができるサロンや体操などを行う場

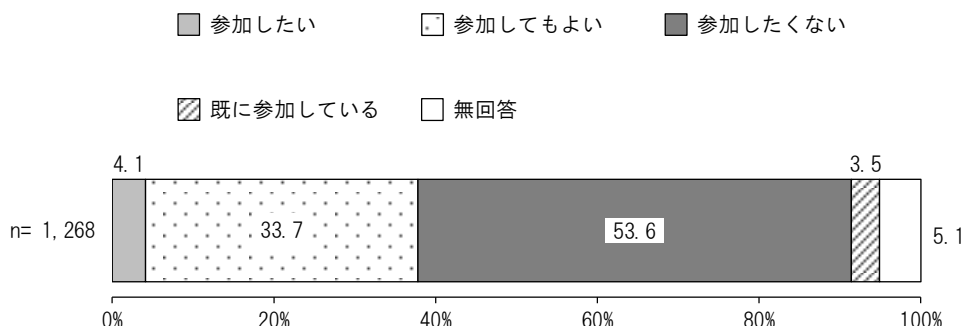
問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

「参加してもよい」が47.4%と最も高く、次いで「参加したくない」が31.9%、「参加したい」が11.5%となっています。



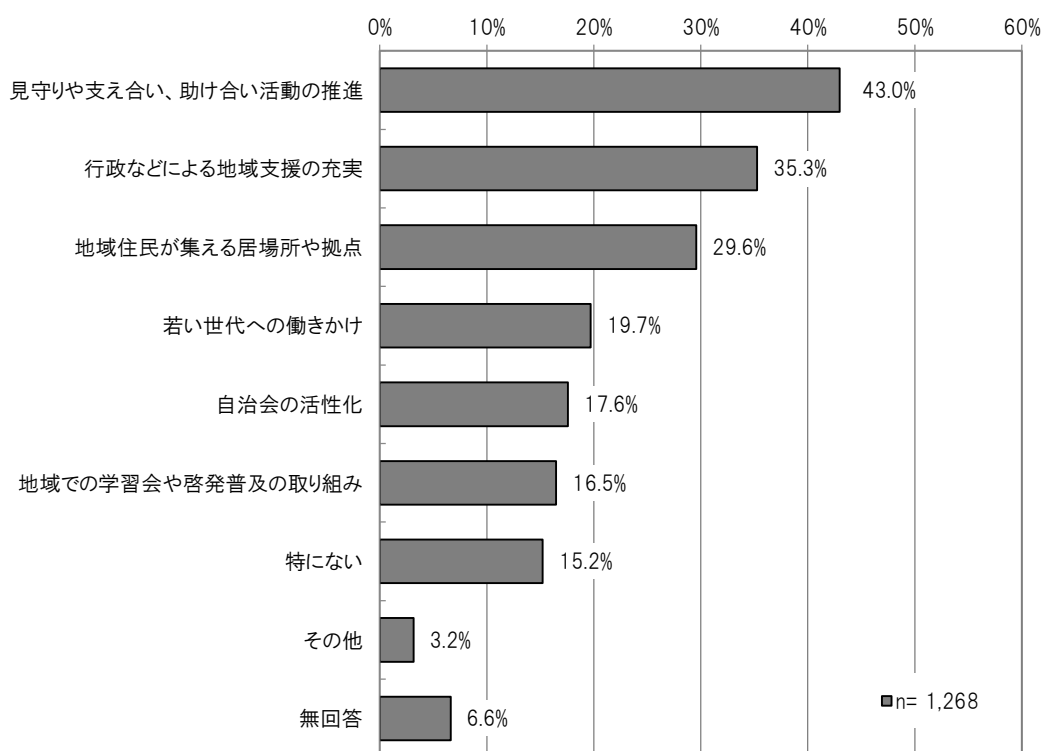
問 36 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

「参加したくない」が 53.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 33.7%となっています。



問 37 地域の担い手が少なくなっている現状において、地域住民が地域の課題を自分のこととして、取り組んでいくための有効な手段は何だと思えますか。(○はいくつでも)

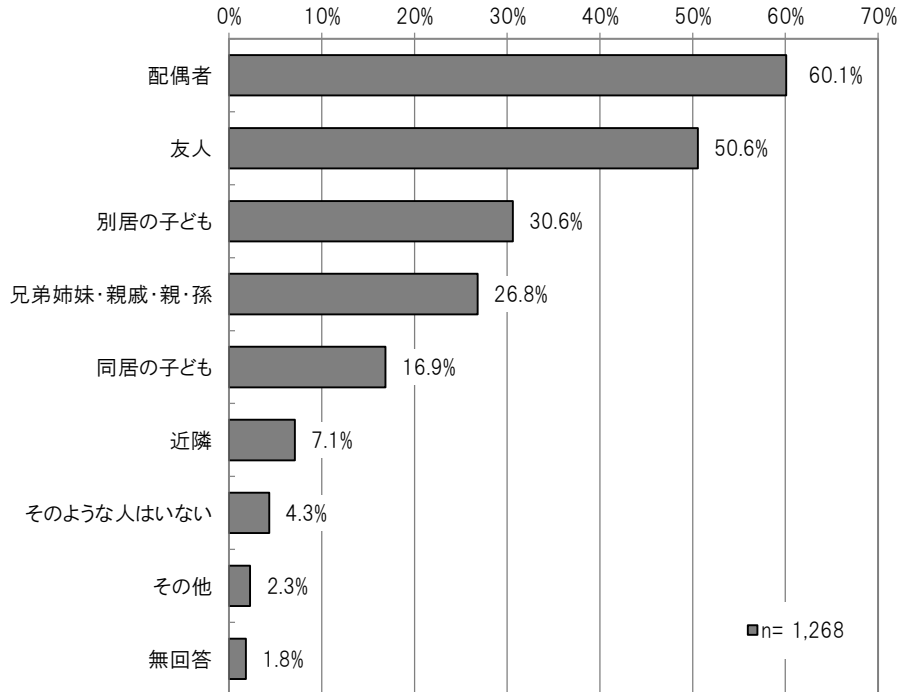
「見守りや支え合い、助け合い活動の推進」が 43.0%と最も高く、次いで「行政などによる地域支援の充実」が 35.3%、「地域住民が集える居場所や拠点」が 29.6%となっています。



6 たすけあいについて

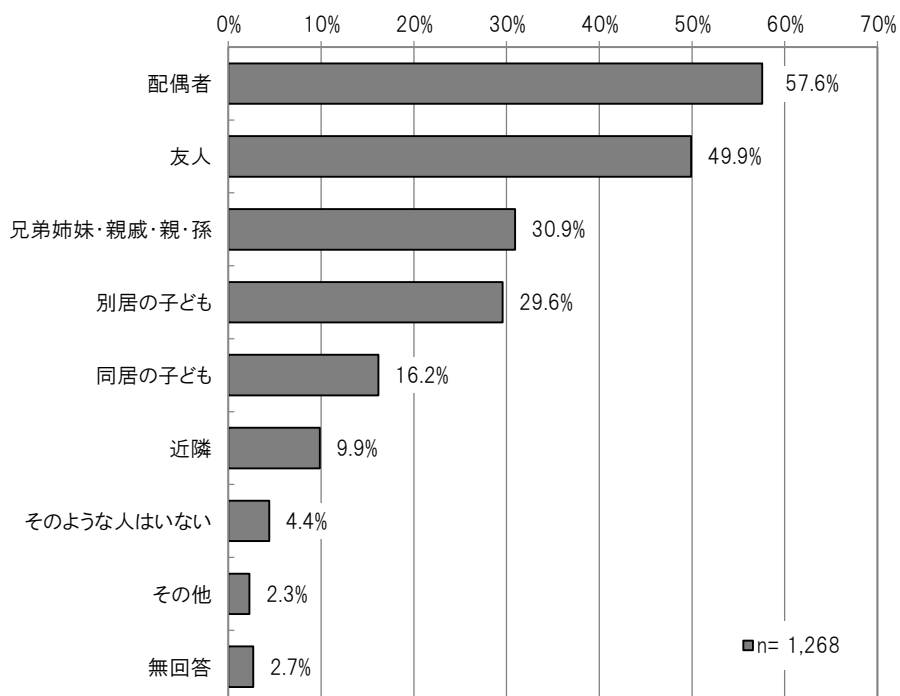
問 38 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はだれですか。（○はいくつでも）

「配偶者」が60.1%と最も高く、次いで「友人」が50.6%、「別居の子ども」が30.6%となっています。



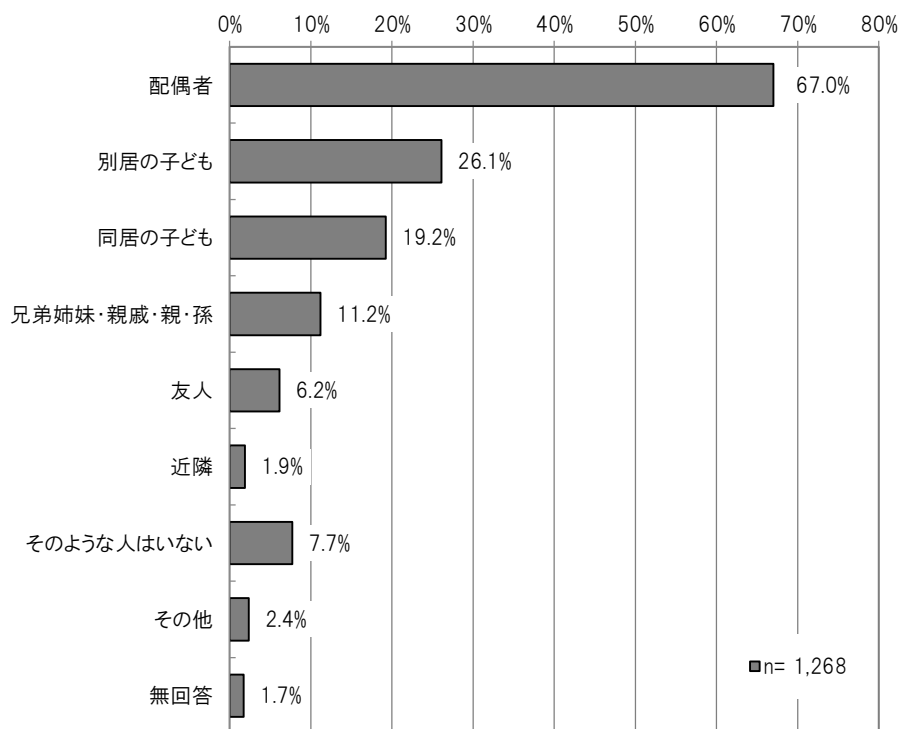
問 39 反対にあなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はだれですか。（○はいくつでも）

「配偶者」が57.6%と最も高く、次いで「友人」が49.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.9%となっています。



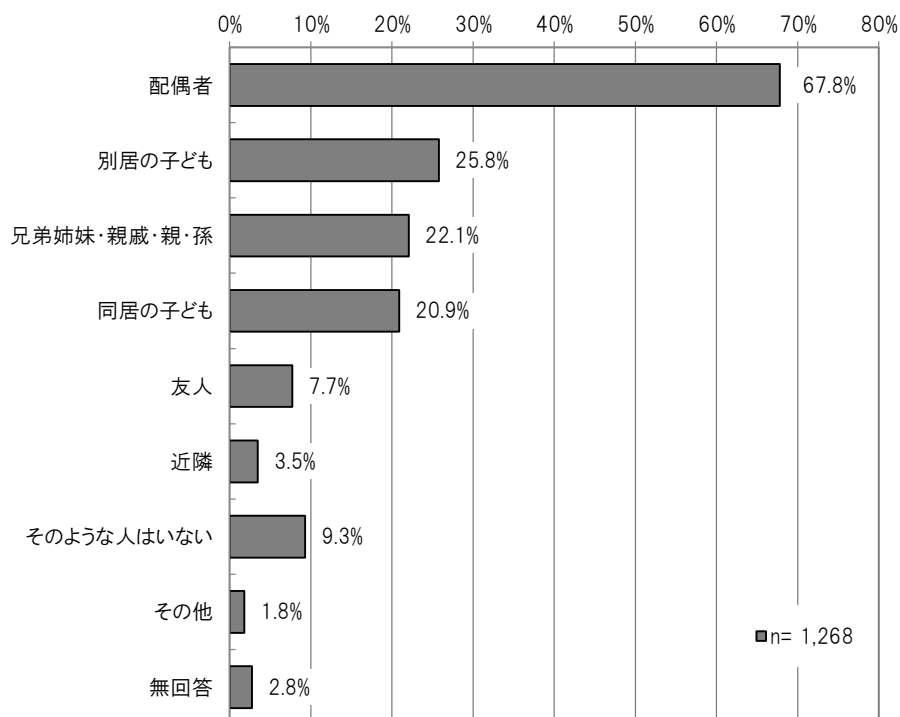
問 40 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が67.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が26.1%、「同居の子ども」が19.2%となっています。



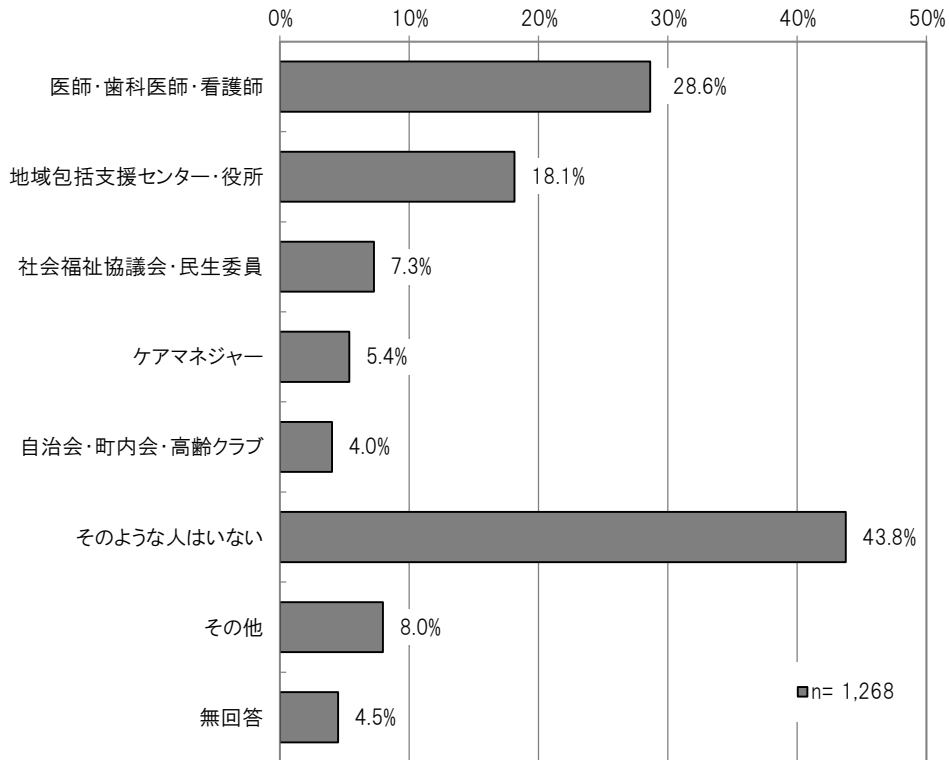
問 41 反対に、看病や世話をしてあげる人はだれですか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が67.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」が25.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が22.1%となっています。



問 42 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
 (〇はいくつでも)

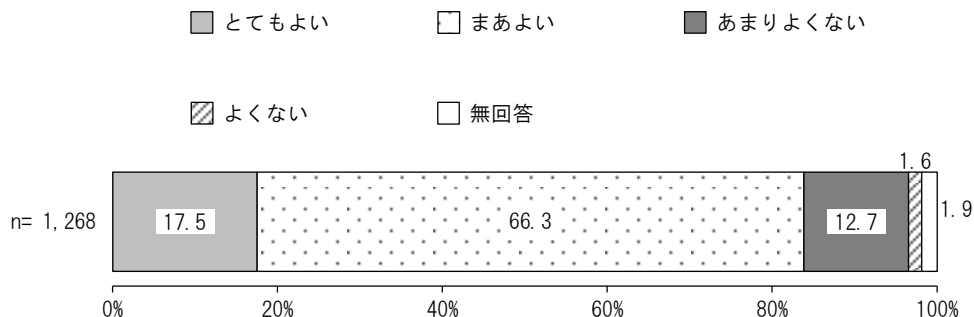
「そのような人はいない」が43.8%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が28.6%、「地域包括支援センター・役所」が18.1%となっています。



7 健康について

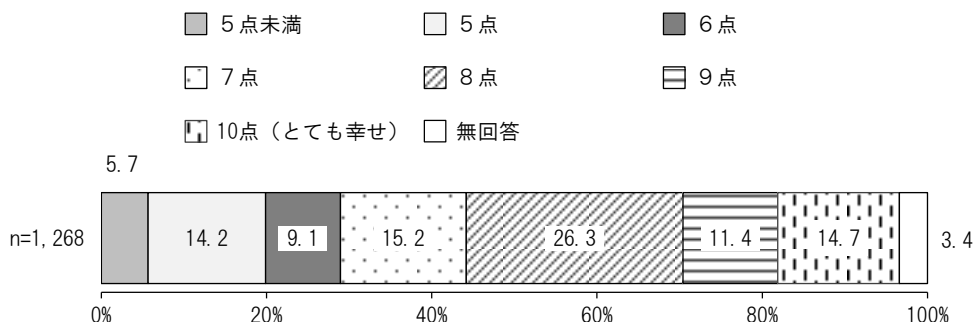
問 43 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”が 83.8%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”が 14.3%となっています。



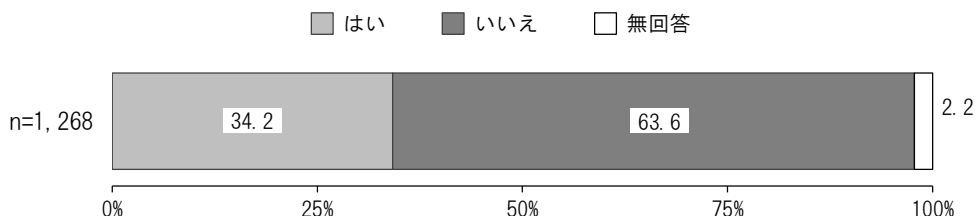
問 44 あなたは、現在どの程度幸せですか。
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、1つに○をつけてください)

「8点」が 26.3%と最も高く、次いで「7点」が 15.2%、「10点 (とても幸せ)」が 14.7%となっています。



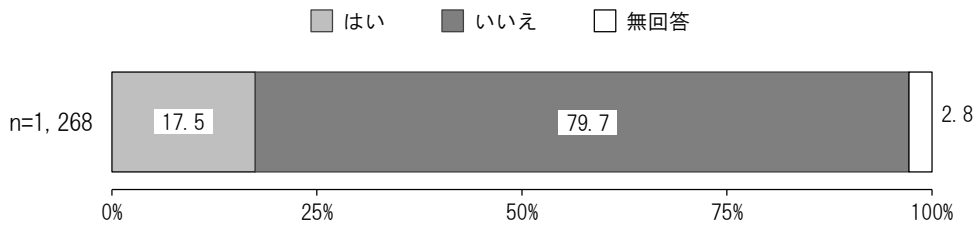
問 45 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

「はい」が 34.2%、「いいえ」が 63.6%となっています。



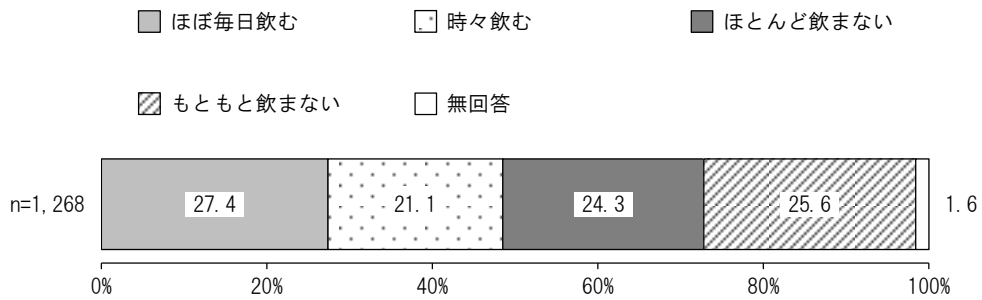
問 46 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

「はい」が17.5%、「いいえ」が79.7%となっています。



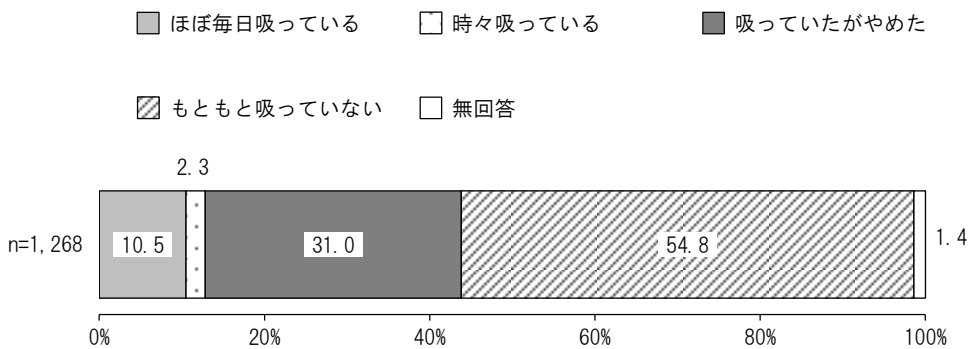
問 47 お酒は飲みますか。(1つに○)

「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」をあわせた“飲む”が48.5%、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」をあわせた“飲まない”が49.9%となっています。



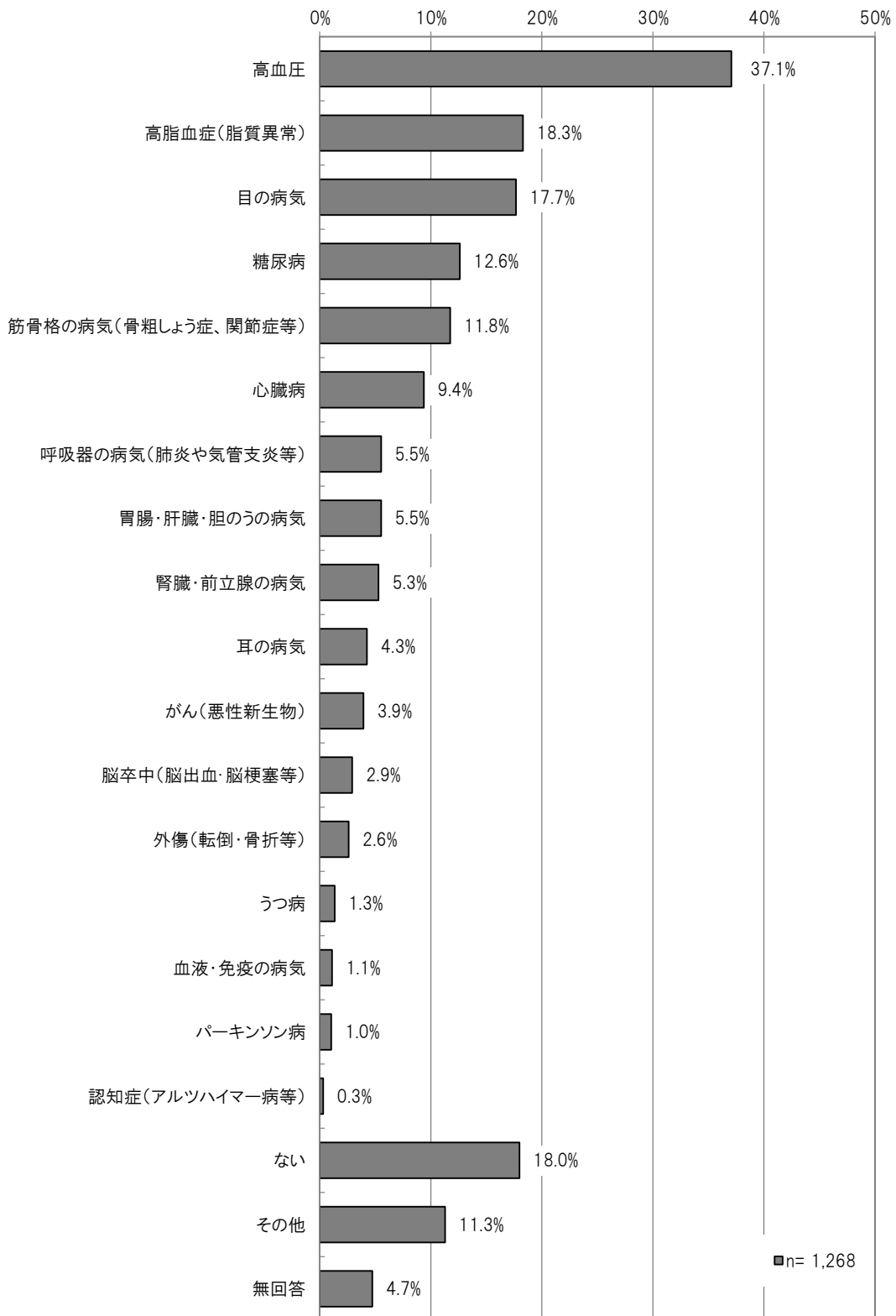
問 48 タバコは吸っていますか。(1つに○)

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」をあわせた“吸っている”が12.8%、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」とをあわせた“吸っていない”が85.8%となっています。



問 49 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

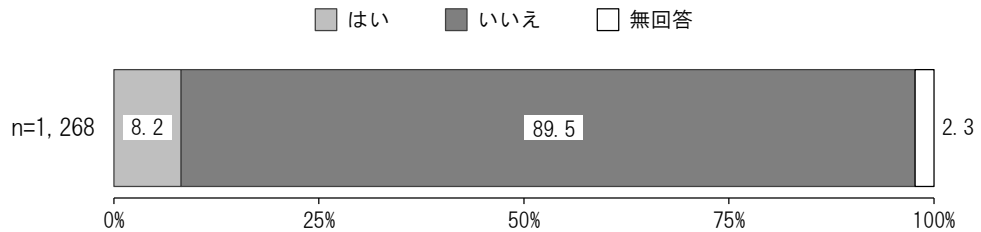
「高血圧」が37.1%と最も高く、次いで「高脂血症(脂質異常)」が18.3%、「ない」が18.0%、「目の病気」が17.7%、となっています。



8 認知症について

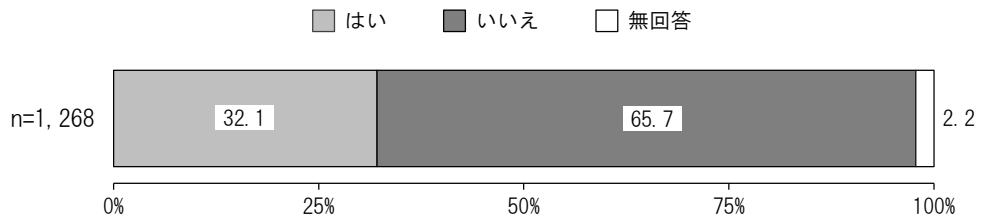
問50 あなたご自身に認知症がある、または家族にそのような人がいますか。(1つに○)

「はい」が8.2%、「いいえ」が89.5%となっています。



問51 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

「はい」が32.1%、「いいえ」が65.7%となっています。



9 生活機能評価等に関する分析

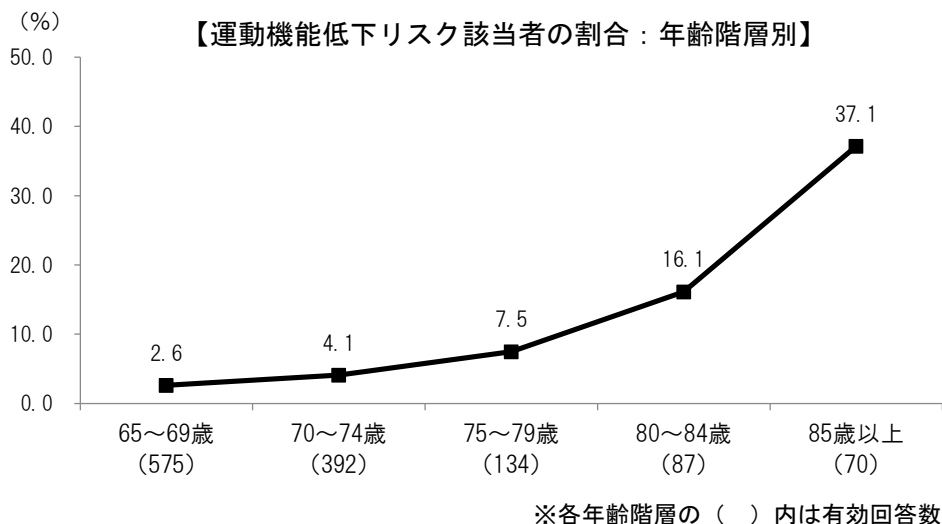
①運動器の機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

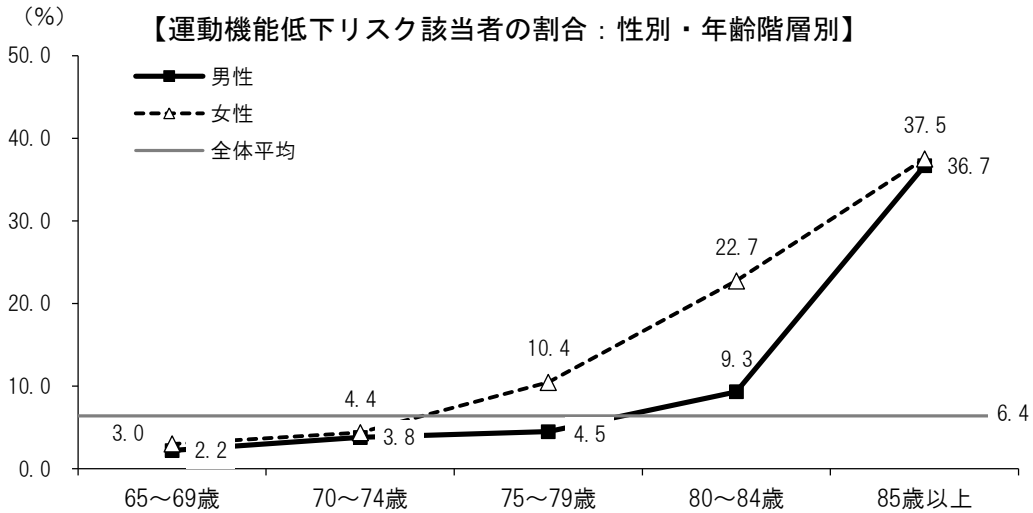
問番号	設問	該当する選択肢
問 9	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問 10	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問 11	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問 12	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問 13	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく運動器の機能低下リスクの評価結果をみると、年齢階級が高くなるにつれ、リスク該当者の割合が増加しています。特に80歳以降で増加の幅が大きくなり、80～84歳では16.1%と、75～79歳に比べて8.6ポイント高くなっています。さらに85歳以上では37.1%と、80～84歳に比べて21.0ポイント高くなっています。



全体平均では、6.4%が運動器の機能低下のリスク該当者となっています。

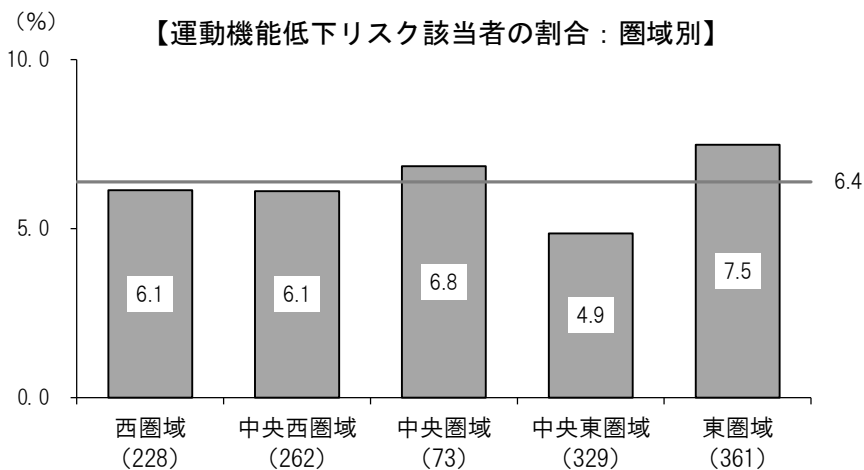
性別・年齢階層別にみると、男性は80歳以降で全体平均を上回っており、85歳以上で36.7%と、80～84歳に比べて27.4ポイント増加しています。女性はすべての年齢階層で男性に比べて高くなっており、75歳以降で全体平均を上回っています。85歳以上で37.5%と、80～84歳に比べて14.8ポイント増加しています。



有効回答数	65～69歳	70～74歳※	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	273	185	67	43	30
女性	302	206	67	44	40

※性別無回答が1名

圏域別にみると、中央圏域と東圏域で該当者の割合が全体平均である6.4%を超えています。最も高い圏域は東圏域で7.5%、最も低い圏域は中央東圏域で4.9%となっており、2.6ポイントの差があります。



※各圏域の（ ）内は有効回答数

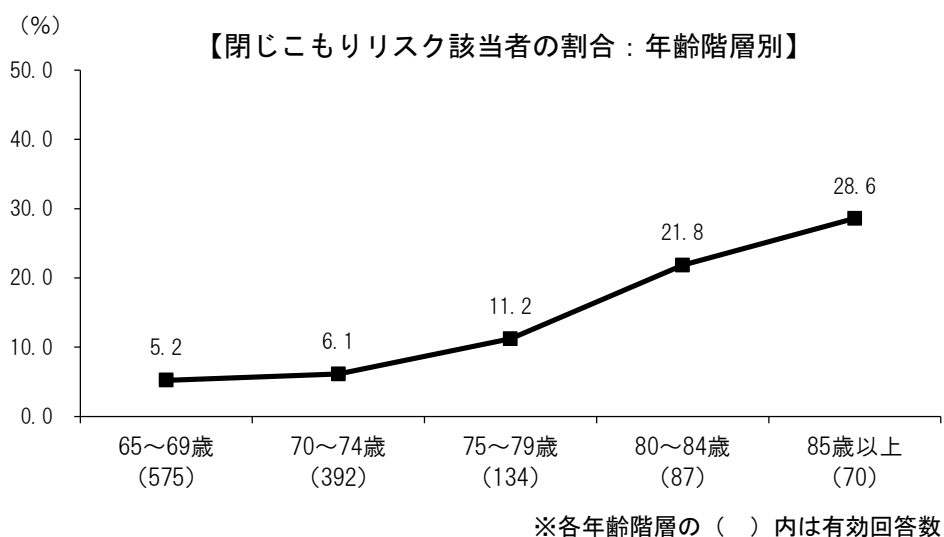
②閉じこもり傾向

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもり傾向のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

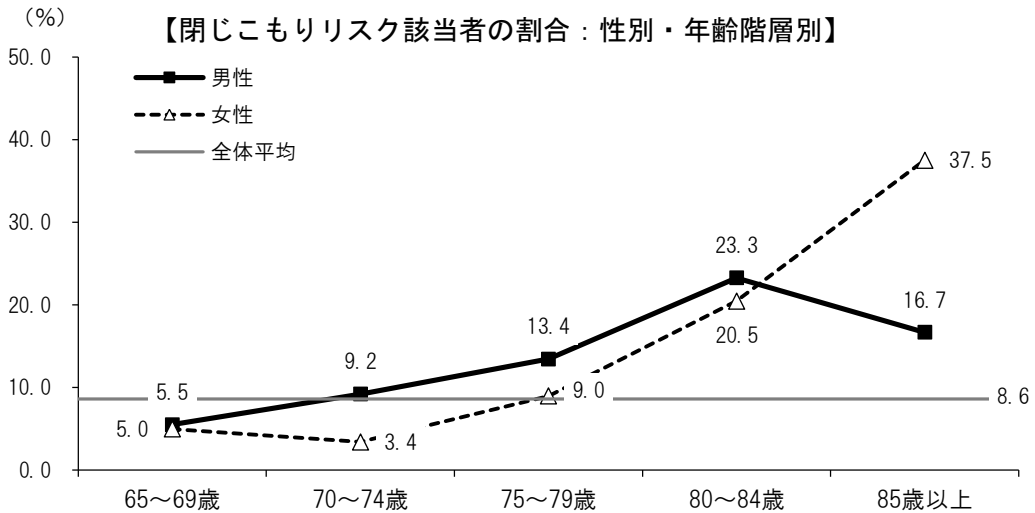
問番号	設問	該当する選択肢
問 14	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく閉じこもり傾向リスクの評価結果をみると、年齢階層が高くなるにつれ、リスク該当者の割合が増加しています。特に80歳以降で増加の幅が大きくなり、80～84歳では21.8%と、75～79歳に比べて10.6ポイント増加しています。



全体平均では、8.6%が閉じこもり傾向のリスク該当者となっています。

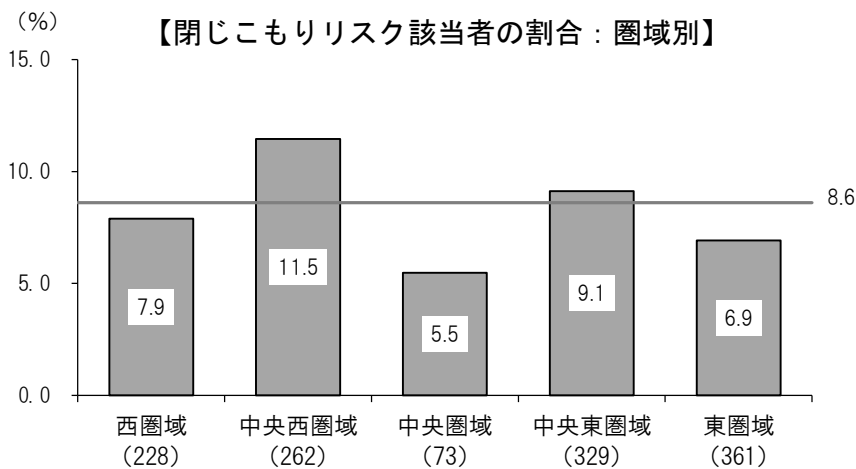
性別・年齢階級別にみると、男性は70歳以降で全体平均を上回っており、80～84歳で23.3%と、75～79歳に比べて9.9ポイント増加しています。女性は75歳以降で全体平均を上回っており、特に80歳以降で増加の幅が大きくなっています。80～84歳では20.5%と、75～79歳に比べて11.5ポイント増加しており、さらに85歳以上では37.5%と、80～84歳に比べて17.0ポイント増加しています。



有効回答数	65～69歳	70～74歳※	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	273	185	67	43	30
女性	302	206	67	44	40

※性別無回答が1名

圏域別にみると、中央西圏域と中央東圏域で該当者の割合が全体平均である8.6%を超えています。最も高い圏域は中央西圏域で11.5%、最も低い圏域は中央圏域で5.5%となっており、6.0ポイントの差があります。



※各圏域の（ ）内は有効回答数

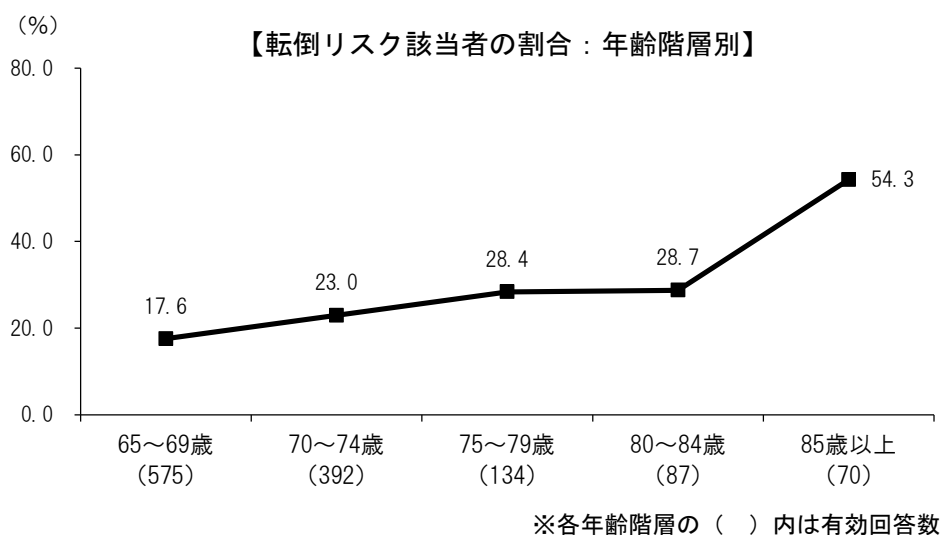
③転倒リスク

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒リスクの該当者と判定しました。

【判定設問】

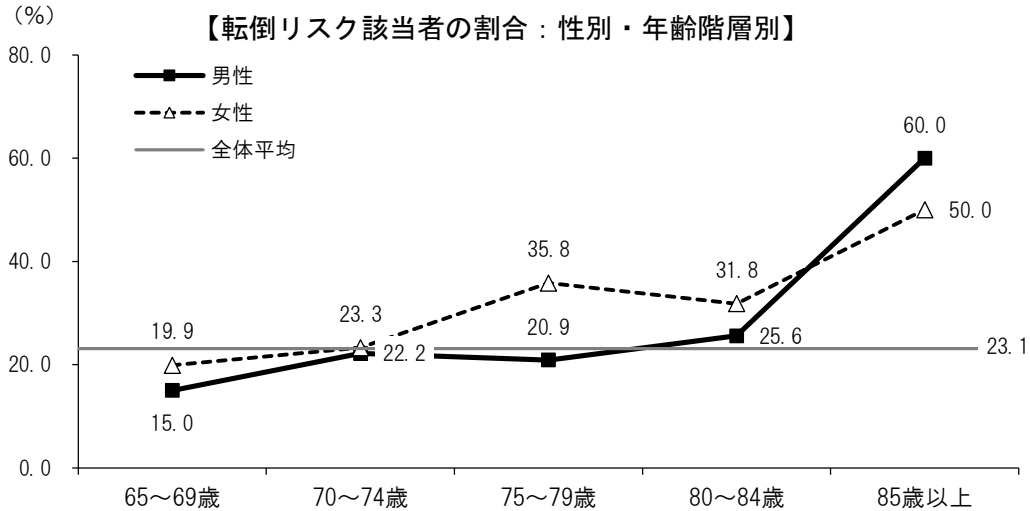
問番号	設問	該当する選択肢
問 12	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく転倒リスクの評価結果をみると、年齢階層が高くなるにつれ、リスク該当者の割合が増加しています。特に85歳以上で増加の幅が大きくなり、54.3%と、80～84歳に比べて25.6ポイント増加しています。



全体平均では、23.1%が転倒リスクの該当者となっています。

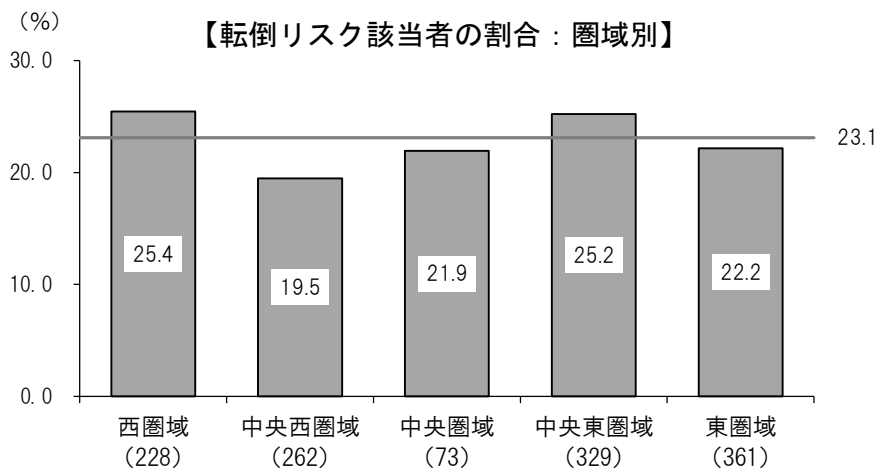
性別・年齢階級別にみると、男性は80歳以降で全体平均を上回っており、85歳以上で60.0%と、81~84歳に比べて34.4ポイント増加しています。女性は70歳以降で全体平均を上回っており、85歳以上で50.0%と、80~84歳に比べて18.2ポイント増加しています。



有効回答数	65~69歳	70~74歳※	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	273	185	67	43	30
女性	302	206	67	44	40

※性別無回答が1名

圏域別にみると、西圏域と中央東圏域で該当者の割合が全体平均である23.1%を超えています。最も高い圏域は西圏域で25.4%、最も低い圏域は中央西圏域で19.5%となっており、5.9ポイントの差があります。



※各圏域の（ ）内は有効回答数

④低栄養傾向

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養傾向のリスク該当者と判定しました。

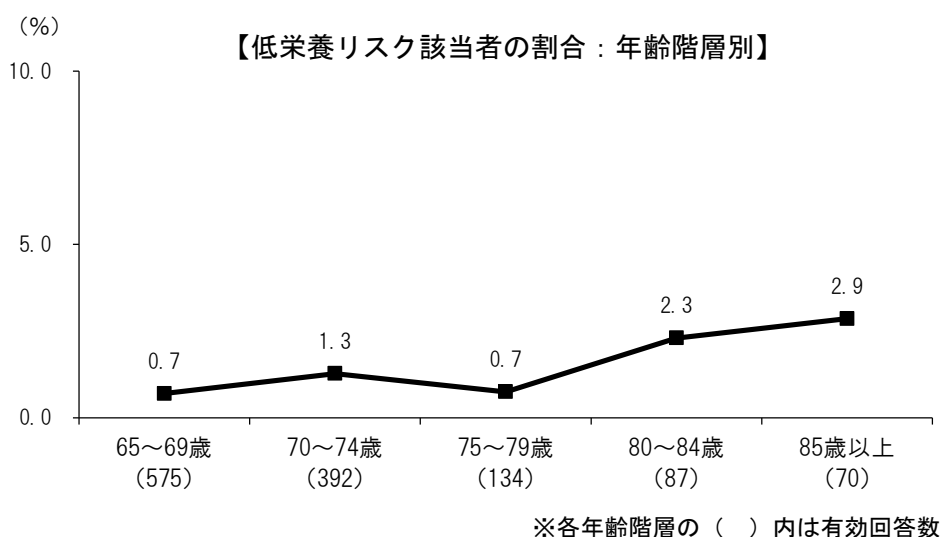
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 19	身長・体重をご記入ください。	BMI18.5※未満
問 24	この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

※BMIの数値は、

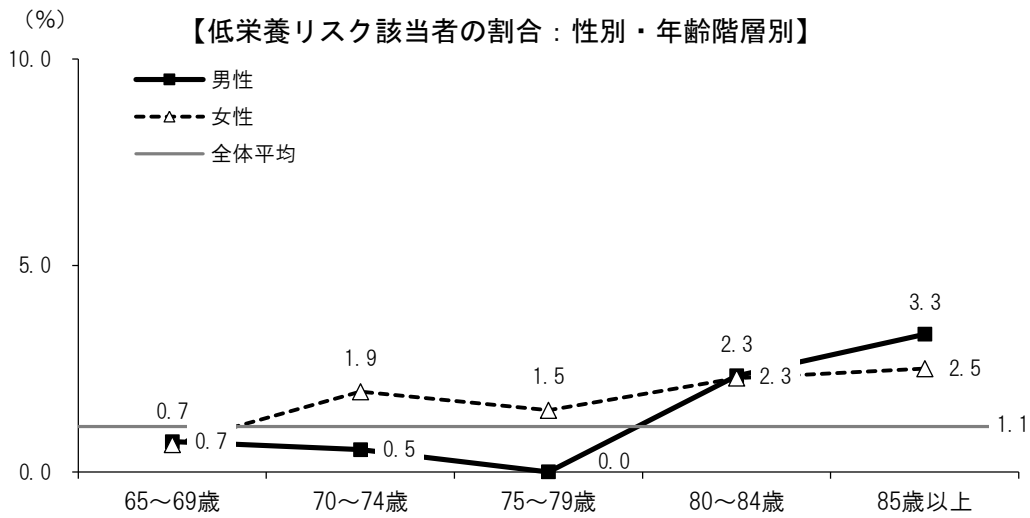
体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)} を計算して算出します。

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく低栄養傾向の評価結果をみると、80歳以降でリスク該当者の割合が増加しています。



全体平均では、1.1%が低栄養傾向のリスク該当者となっています。

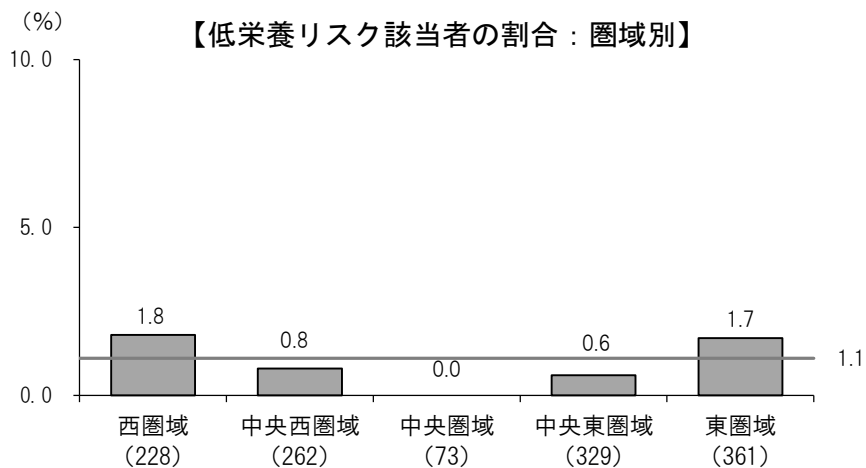
性別・年齢階級別にみると、男性は80歳以降で全体平均を上回っており、女性は70歳以降で全体平均を上回っています。



有効回答数	65~69歳	70~74歳※	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	273	185	67	43	30
女性	302	206	67	44	40

※性別無回答が1名

圏域別にみると、西圏域と東圏域で該当者の割合が全体平均である1.1%を超えています。最も高い圏域は西圏域で1.8%、最も低い圏域は中央圏域で0.0%となっており、1.8ポイントの差があります。



※各圏域の（ ）内は有効回答数

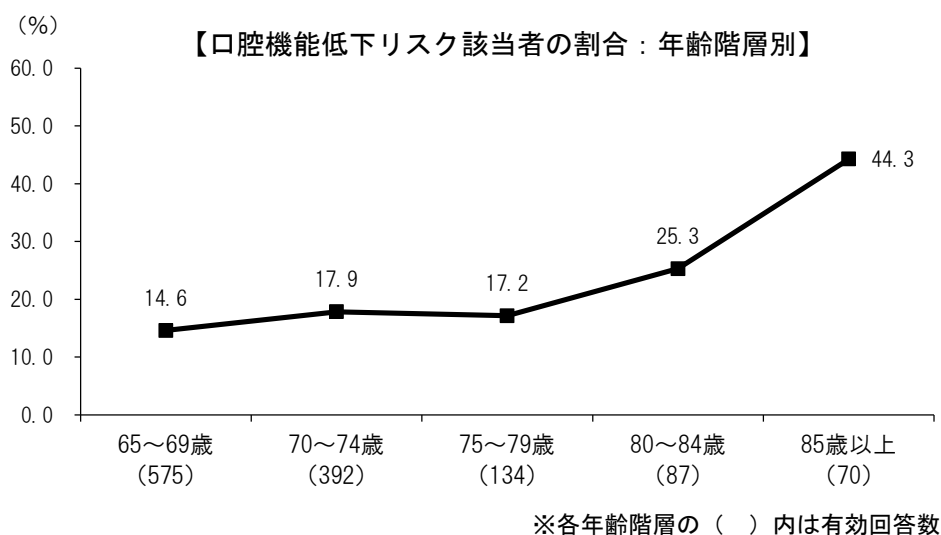
⑤ 口腔機能の低下

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

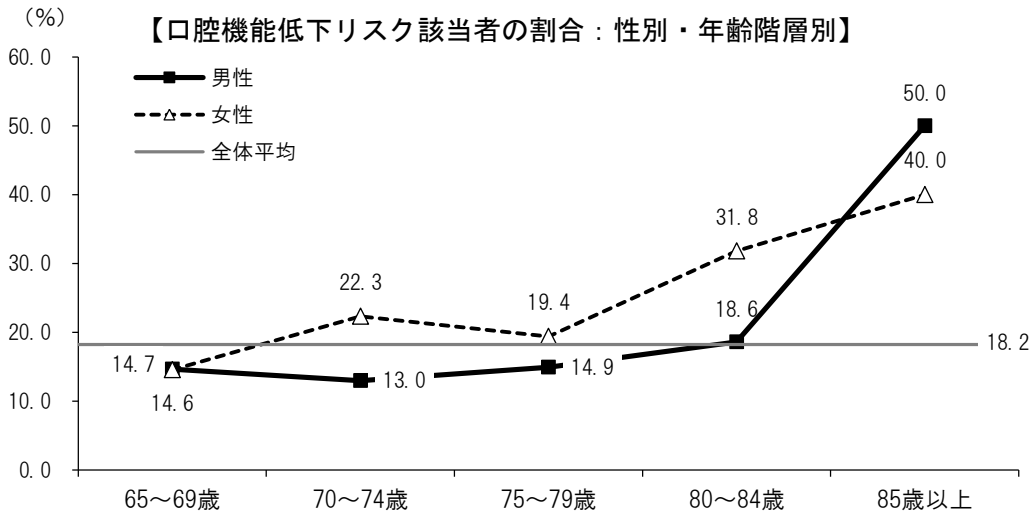
問番号	設問	該当する選択肢
問 20	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 21	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 22	口の渇きが気になりますか。	1. はい

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく口腔機能低下リスクの評価結果をみると、80歳以降はリスク該当者の割合が増加しています。特に85歳以上で44.3%と、80～84歳に比べて19.0ポイント増加しています。



全体平均では、18.2%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

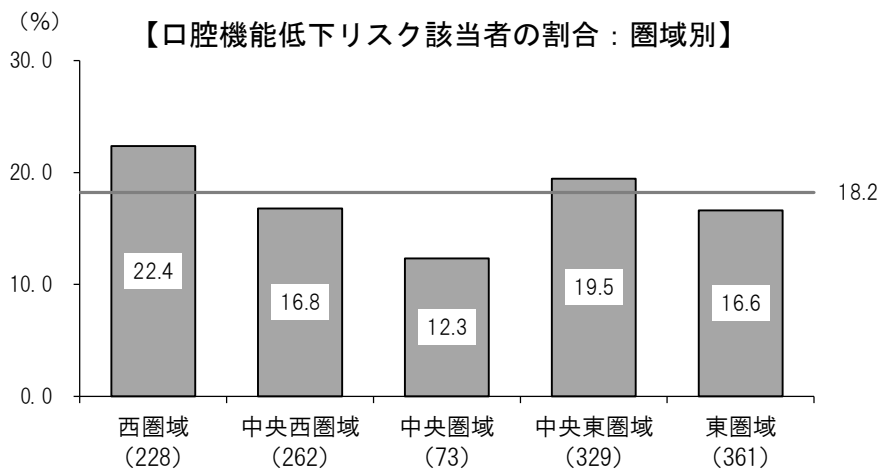
性別・年齢階級別にみると、男性は80歳以降で全体平均を上回っており、85歳以上で50.0%と、80～84歳に比べて31.4ポイント増加しています。女性は70歳以降で全体平均を上回っており、80～84歳で31.8%と、75～79歳に比べて12.4ポイント増加しています。



有効回答数	65～69歳	70～74歳※	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	273	185	67	43	30
女性	302	206	67	44	40

※性別無回答が1名

圏域別にみると、西圏域と中央東圏域で該当者の割合が全体平均である18.2%を超えています。最も高い圏域は西圏域で22.4%、最も低い圏域は中央圏域で12.3%となっており、10.1ポイントの差があります。



※各圏域の（ ）内は有効回答数

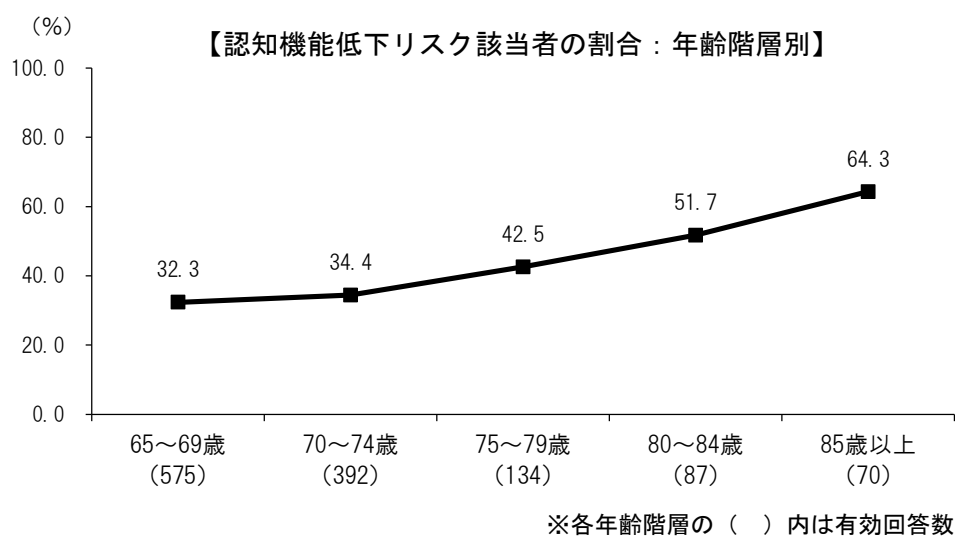
⑥認知機能の低下

調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

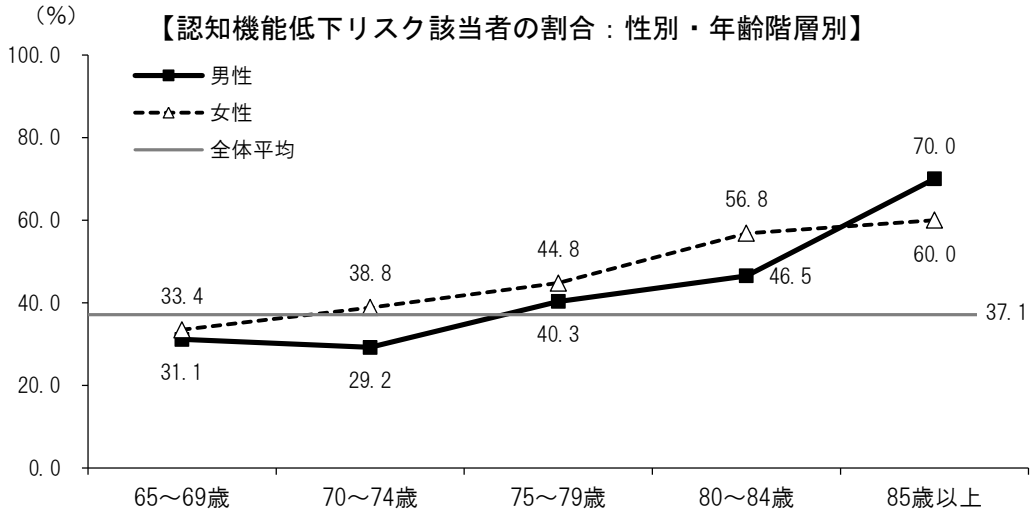
問番号	設問	該当する選択肢
問 26	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく認知機能低下リスクの評価結果をみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク該当者の割合が増加しており、80歳以降では50%を超えています。



全体平均では、37.1%が認知機能低下のリスク該当者となっています。

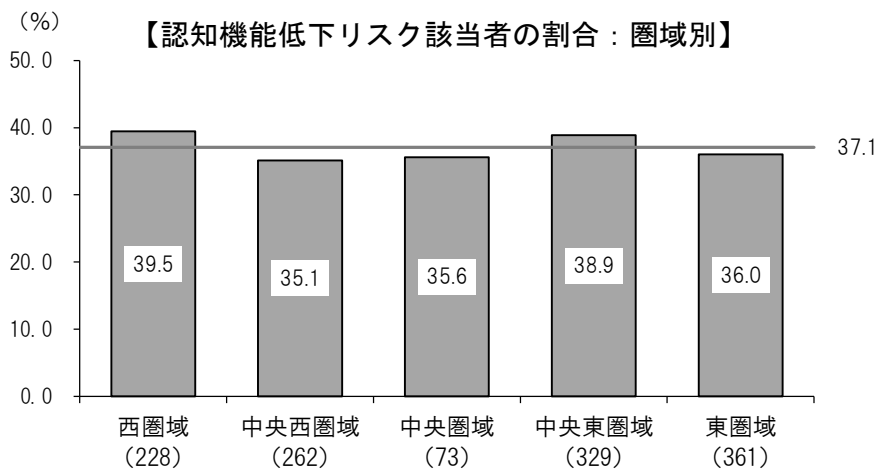
性別・年齢階級別にみると、男性は75歳以降で全体平均を上回っており、85歳以上で70.0%と、80～84歳に比べて23.5ポイント増加しています。女性は70歳以降で全体平均を上回っており、80～84歳で56.8%と、75～79歳に比べて12.0ポイント増加しています。



有効回答数	65～69歳	70～74歳※	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	273	185	67	43	30
女性	302	206	67	44	40

※性別無回答が1名

圏域別にみると、西圏域と中央東圏域で該当者の割合が全体平均である37.1%を超えています。最も高い圏域は西圏域で39.5%、最も低い圏域は中央西圏域で35.1%となっており、4.4ポイントの差があります。



※各圏域の（ ）内は有効回答数

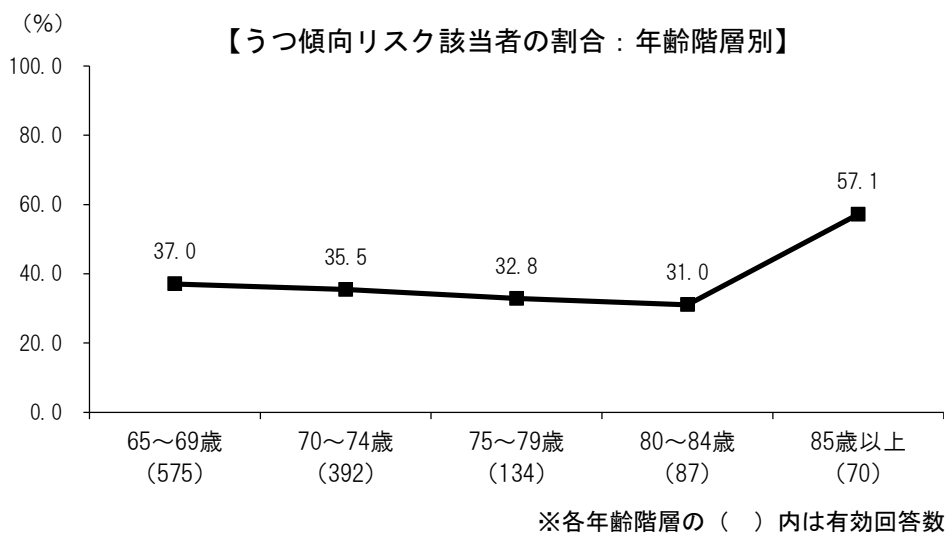
⑦うつ傾向

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

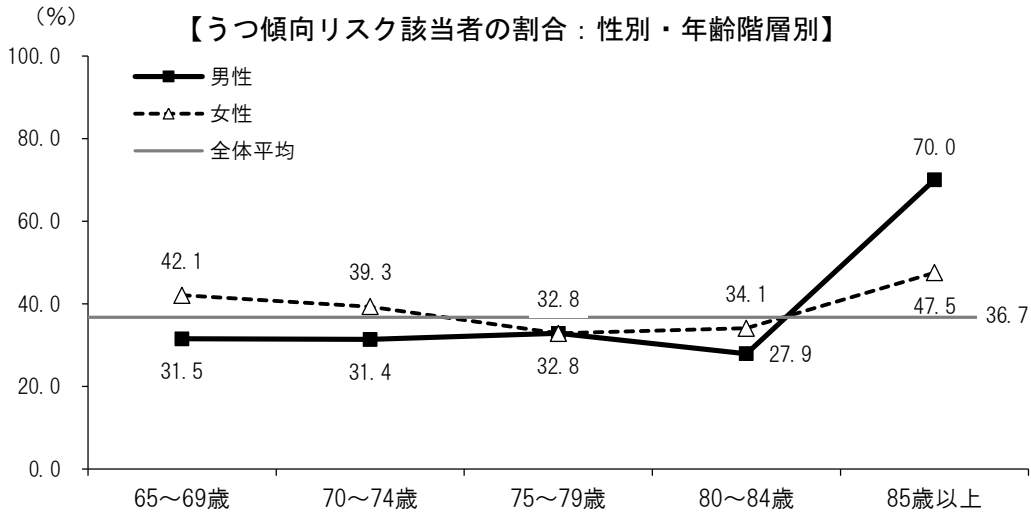
問番号	設問	該当する選択肢
問 45	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 46	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づくうつ傾向リスクの評価結果をみると、85歳以上で57.1%と最も高くなっています。



全体平均では、36.7%がうつ傾向のリスク該当者となっています。

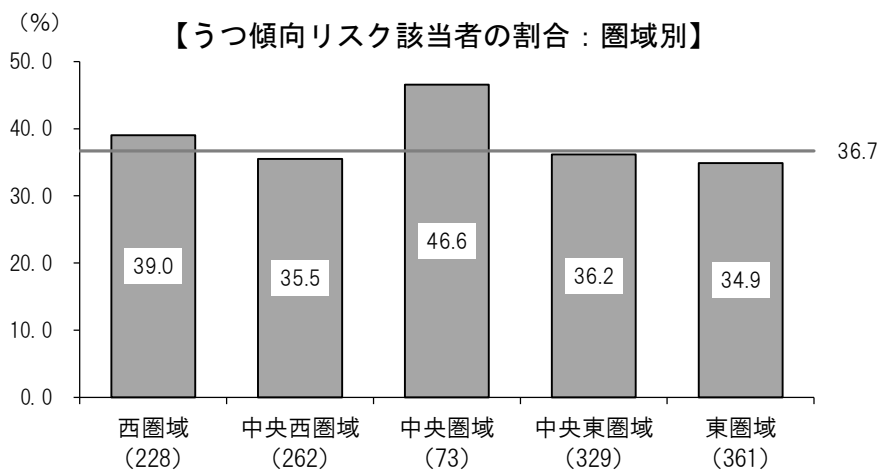
性別・年齢階級別にみると、男性は84歳まで全体平均を下回っていますが、85歳以上で70.0%と最も高くなっており、80~84歳に比べて42.1ポイント増加しています。女性は65~74歳と85歳以上で全体平均を上回っています。85歳以上で47.5%と最も高くなっており、80~84歳に比べて13.4ポイント増加しています。



有効回答数	65~69歳	70~74歳※	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	273	185	67	43	30
女性	302	206	67	44	40

※性別無回答が1名

圏域別にみると、西圏域と中央圏域で該当者の割合が全体平均である36.7%を超えています。最も高い圏域は中央圏域で46.6%、最も低い圏域は東圏域で34.9%となっており、11.7ポイントの差があります。



※各圏域の（ ）内は有効回答数

